



2004 年度第 5 号



やまなみ

サンフランシスコ日本語補習校 理事会通信

2004 年 9 月 4 日

高等部の将来について (2)

前号 (2004 年度第 4 号) では「高等部の将来について (1)」と題して、高等部の状況についてお知らせしました。理事会では、現状認識に基づいて今後とるべき方策と予定について、検討を進めてきました。今月号ではその経過をお知らせ致します。

まず、要点を下記に示します。
移行措置に伴う生徒への影響を最小限にすること、来年度までに残された時間的制約等を考慮して、現在の教育内容をできるだけ継承します。派遣教員が担ってきた管理・運営の職務を行う高等部管理職 (2 名) を新たに設置します。下記の組織図案をご参照ください。これに伴い、サンフランシスコ日本語補習校外から、下記要項により日本語補習校高等部管理職を募集致します。また、教員や保護者への説明会開催等により意見聴取を行い、理事会での検討と方針決定の参考とします (裏面参照)。

検討の経緯

図のような組織形態・運営体制に至るまでの経緯を概略説明します。

下記の要項により、高等部管理職を公募します。

職 位：日本語補習校高等部管理職
募集人員：2 名

職 務：日本語補習校高等部の運営、教員の指導管理、高等部カリキュラムの策定など

資 格：日本または北米等の 4 年制大学卒業かそれに準じる方。英語、日本語に堪能であること。企業等での管理職経験、または中学校、高校、大学等、教育関連機関での教職あるいは管理職の経験のある方。特に青少年教育に興味のある志の高い方を求めます。

勤 務：毎週土曜日に加え週 2 ないし 3 日 (応談) 勤務できる方。(但し、夏期は除く。)

勤務地：日本語補習校事務局 (サンフランシスコ市) と日本語補習校高等部 (サンフランシスコ市、または、クパティノー市)

待 遇：経験により考慮、健康保険等のサポート有。

詳細は、日本語補習校事務局 (青柳) までお問合せください。

まず、北米の他の補習校における文部科学省通知 (「やまなみ」第 4 号参照) への対応の様子を調査し、本校の参考になる事例を探しました。その結果、学校の規模は異なるものの、サンディエゴ、LA、デトロイト補習校の対応が参考になりました。これらの補習校では、文部科学省通知を受けて、理事長が高等部部长あるいは校長を兼任するようになったことが判明しました。

これらの先例に基づき、下図のような暫定組織図が設定されました。まず、高等部校長は理事会メンバーが兼任します。組織の肥大化を防ぎ人件費を節約することが主眼です。つぎに、実際の管理業務を遂行する管理職を設置します。これにより、組織的には高等部は派遣教員の管理下にないことを明示して、文部科学省通知の趣旨に沿うことができます。

しかし、高等部校長や管理職は高等部運営の要であるため、その職務内容、望まれる人材、さらには高等部教育のあり方にまで議論が及びました。また、職責の軽重によって人件費なども当然増減しますので、財務上の検討も行いました。派遣教員からは、学校組織・運営のあり方、子供たちへの影響などについて貴重なアドバイスがありました。

その結果、下図に示すような暫定的組織に緊急避難的に移行し、経過観察のうち数年後を目途に見直しを行うという方針が合意されました。

管理職にふさわしい人材の発掘に関しても議論が行われました。まず、日本での退職教員等の経験者を対象とする案が出ましたが、赴任を含めた発生費用が大きい、ビザ取得が困難等の理由により、ベイエリア在住者に対して募集を行うこととしました。理事会として現教員の方々の中からふさわしい人材が出てこれられることを希望していますが、補習校内にとどまらず、広く外部からも人材を募ることにしました。その際の要件は下記の募集要項のとおりです。公募はこの「やまなみ」が配布された 9 月 4 日をもって始まり、採用者が確定するまで行います。2005 年 4 月開始に向けて、遅くとも年内の人選完了を目指します。

高等部は現在約 50 人の生徒が学ぶ比較的小さな (しかし北米の他の補習校の高等部に比べると大きな) 学校です。更に地理的な条件から 2 箇所に分かれているため、経営的には効率がありません。来年度からは更に管理職設置などがあります。

今回、緊急避難的に対応しますが、い

現状組織図



2005年度暫定組織図(案)



■ 派遣教員

ずれ、教育方針・内容も含め、高等部のあり方について、より包括的な検討が必要になることは明らかです。例えば、小・中学部との連携を強化し魅力的な高等部になるよう、教育プログラム等についても検討していく必要があります。これらは、新体制移行後の課題と考えます。

高等部説明会開催のお知らせ

理事会・保護者会共催で、来年度の高等部に関する検討経過説明会を開催いたします。

9月18日：中上部 SJ 校コミュニティルーム
9月25日：中上部 SF 校カフェテリア

どちらも午前9時半から1時間程度の予定です。保護者各位のご出席をお待ちしております。

また、9月11日午後4時半より1時間程度、理事会主催の説明会を教員対象に行います。

夏期集中学習期間中に発生した安全懸念事例に関して

6月22日からの夏期集中学習期間中、小学部 SJ 校では現地学校区による校舎等の工事が行われ、特に初期数日間の騒音、粉塵などのため教育に多大な影響がありました。

6月21日に理事会から学校長に宛てて集中学習実施に関して判断をお願いしたところ、「教育の現場としては極めて不適切」との判断でした。

理事会では、諸般の事情を勘案すると中止は困難であり予定通り実施することの判断を下しました。また、被害緩和・事後対応策として、期間中の警備員増員の検討、弁護士による学校区への工事中止の申し入れ、防塵マスク配布、理事による現場の視察などにより学習環境の確保に努めました。騒音、粉塵などを起こす工事はその後補習校から学校区への申し入れにより縮小されました。

また、鉛、アスベストなど健康被害が懸念される危険物の周囲環境中への放出が心配されましたが、後日学校区から放出はなかったとの報告がありました。

幸い、10日間の期間を乗り切ることができました。しかし、まずこのような事態を今後招かないよう防御策を用意しておくことが肝要です。

反省点として、(1)直前まで工事の開始を察知できなかった、(2)弁護士による交渉を早く始めるべきであった、などが理事会の検討で挙げられました。(1)に対しては、ディストリクトとの連絡の取り方について再検討する(例えば、複数のソースから情報を得る)ことなどで対応することになりました。

その結果、工事は9月新学期開始後も継続されるとの情報を得たため、補習校の開かれる土曜日に工事が行われないことを確認した覚書を弁護士立会の上、学校区と交わりました。これにより、9月からは平穏で安全な学習環境は確保されたものと考えます。

理事会では昨年度に引き続き今年度も安全対策を見直してきましたが、地震、テロなどとは性質の異なる、しかし影響の大きい事象のあることが今回の経験により判明しました。今回の経験をもとに、理事会では安全対策見直しを更に進めていきます。

一方、7月1日午後、小学部 SF 校において外部からの爆竹投げ込みによるボヤが発生しました。事前に不審者の存在を察知して警備員の配置を変えるなど菅野教頭先生が注意深く対応していたこともあり、出火後かなり早い段階で発見することができ、児童の避難も迅速かつスムーズに行われました。

どちらも、学校長、教頭、教員各位の迅速かつ適切な対応により事なきを得ました。刻々変化する状況の中で難しい判断を迫られる中、的確な判断をいただいたことに理事会よりお礼を申し上げます。

理事交代

帰国に伴い退任 ウィレン理子 7/31 付
就任 中村ベス 8/1 付
帰国に伴い退任 藤岡孝司 9/11 付
就任 野原裕史 9/12 付
藤岡学務委員長退任に伴い、千田第2副理事長が学務委員長を兼任します。

理事就任のご挨拶



中村ベス
(学務委員)

保護者会サンフランシスコ校ウィレン前副会長の後任として、理事担当の会長補佐に就任いたしました。昨年度に増して活発な活動をしている理事会での議論に保護者の意見が取り入れられるよう努力をいたします。



野原裕史
(総務委員)

海外で生活すること、学ぶことは、子供たちにとって、コミュニケーション、文化、環境の違いを経験できる有意義な機会です。学校がより有意義な「場」を提供できるよう、皆様と一緒に取り組んでいきたいと思っております。

人事異動

退職 小 SJ 風間康子 (7/2 付)

事務局よりお知らせ

9月、10月の主な行事予定

月	日	行事予定
9	11	中上部前期期末テスト
9	18	理事訪問 (小 S J)
9	25	理事訪問 (小 S F)
10	2	前期終業
10	9	後期始業
10	23	中上部授業参観・個別面談

イヤーブック写真撮影予定日 (10月)

日	対象
2日	午前 小学部 SJ 校 (5, 6年生個人写真, 教職員集合写真, 校長, 教頭, 各クラス担任, 専科, 看護, 事務, 用務個人写真)
	午後 中上部 SJ 校 (全員)
9日	小学部 SF 校 (1~3年, 4年1組, 4年3組個人写真, 教頭, 各クラス担任, 専科, 看護, 事務, 用務個人写真)
16日	小学部 SJ 校 (1~4年生個人写真, 卒業生集合写真)
23日	午前 中上部 SF 校 (全員)
	午後 小学部 SF 校 (4年2組, 5・6年生個人写真, 卒業生集合写真, 校長, 教職員集合写真)

教科書配布 (下) について

小学部では、下記の教科書を9月に配布する予定です。(各学年に○印のついている教科書が配布されます。)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
国語(下)各学年用	○	○	○	○	○	○
社会3・4年用(下)			○			
社会5年用(下)					○	
社会6年用(下)						○
算数(下)各学年用		○	○	○	○	○
理科4年用(下)				○		
理科5年用(下)					○	
理科6年用(下)						○
生活1・2年用(下)	○					
図画工作	1・2年用(下)	○				
	3・4年用(下)			○		
	5・6年用(下)					○
給付教科書冊数	3	2	4	3	5	4

※ 1年生の算数(下)はありません。
※ 上記以外及び中上部には「下」の教科書はありません。前期のものを引き続き使用いたします。
※ 海外子女教育財団等で、すでに上記の教科書を受領している児童は、配布の対象になりません。

学校図書返却のお願い

夏休みに貸し出した図書の返却を各校で行っています。夏休みに借りた図書は、早急に返却をお願いいたします。

「やまなみ」はサンフランシスコ日本語補習校理事会により月1回発行されます。発行人：山崎啓二

San Francisco Japanese Language Class, Inc.,
760 Market Street, #816, San Francisco, CA 94102

電話：415-989-4535 FAX：415-989-2542

理事会・事務局 office@sfjlc.com,

学校 sfjlc@msn.com,

ホームページ：http://sfjlc.com

理事会および学校事務局へのご意見・ご質問等を歓迎します。匿名でのお問合せ等には一切お答えしかねます。

無断複製・転載を禁ずる。©2004 All rights reserved.